

特定相談支援事業所 御中

横浜市健康福祉局障害福祉課長

訪問入浴サービスにおける夏季の利用回数増加について（通知）

日頃より、横浜市の障害福祉行政にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、地域生活支援事業である訪問入浴サービスについては、これまで季節に関係なく一律週 2 回上限の利用としていましたが、平成 31 年 4 月より、夏季（6 月から 9 月まで）に限り、週 3 回まで利用可能とするよう制度を変更しましたので、お知らせいたします。

それに伴い、サービス等利用計画作成にあたっては、利用者から利用回数の希望を聞き取った上で作成いただくようお願いいたします。

1 サービス内容について

（１）対象となる利用者

横浜市民で、訪問入浴サービスの利用者（施設入浴は対象外）

（２）利用回数

夏季（6 月～9 月）に限り、週 3 回、最大月 15 回を利用上限とする。

※上記以外の期間は、これまで通り週 2 回、最大月 10 回まで。

（３）利用回数を増やす手続

増となる利用の開始前に、利用者が区役所で申請をする必要があります。

利用回数の増希望がない場合、手続は不要です。

（４）受給者証の記載について

今回の制度変更で利用回数が増える方については、記載が次のようになります。

書き方例：「基本 XX 回／月 （6 月から 9 月のみ。それ以外は YY 回）」

↑ 下線部分は区役所で手書き追記（将来的には通常印字予定）

※この場合、6・7・8・9 月は XX 回上限、それ以外の月は YY 回上限です。

（５）切替時期の取扱い

5 月最終週や 9 月最終週等、週の途中で次の月に変わる場合は、増減する曜日が属する月の基準での対応とします。

例：週 2 回利用時：月・金、週 3 回利用時：月・水・金 の利用者の場合

2019 年 10 月 1 日は火曜日のため、この週は月曜・金曜の 2 回のみ利用可能です。

2 特定相談支援事業所の対応について

夏季の入浴サービス利用回数増加にあたり、次のように対応をお願いします。

既に入浴サービスを利用しており、回数のみ増やす場合	支援方針が変更しない場合、サービス等利用計画の再作成は不要。 ●追加したい月の前月以前にモニタリング実施月が <u>ある</u> 場合 ⇒モニタリング報告書に夏季のみ回数増の旨を記載し、区役所に提出。 ●追加したい月の前月以前にモニタリング実施月が <u>ない</u> 場合 ⇒区役所にて（第1号様式－4 援助計画）を作成。
入浴サービスを新規で利用もしくは更新する場合	いずれもサービス等利用計画の再作成が必要。 ⇒新規利用者の場合には、支援方針の変更が想定されるため、基本的にはサービス等利用計画を再作成する。 ⇒更新の場合、通常手続と同様にサービス等利用計画を再作成。

<参考> 制度利用の流れ

1) 利用者→区役所	利用回数増加に伴う支給決定の変更申請。
2) 区役所	申請に基づいて支給決定。 利用者へ受給者証を送付。
3) 利用者→入浴サービス事業所	利用者は事業所へ受給者証を提示。
4) 入浴サービス事業所	受給者証の利用回数を確認の上、サービス提供。 サービス提供の翌月に給付費を請求。

※横浜市ホームページに、障害者入浴サービスの事業案内（平成31年4月更新版）を掲載していますので、併せてご確認ください。

問合先

障害福祉課 事業者育成担当

電話：045-671-2402